

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 2 部門第 5 区分
【発行日】令和 5 年 9 月 21 日(2023.9.21)

【公開番号】特開 2023-9126(P2023-9126A)
【公開日】令和 5 年 1 月 19 日(2023.1.19)
【年通号数】公開公報(特許)2023-011
【出願番号】特願 2022-176813(P2022-176813)
【国際特許分類】

B 6 0 R 13/02(2006.01)

10

B 6 0 R 7/04(2006.01)

B 6 0 N 3/00(2006.01)

【F I】

B 6 0 R 13/02 Z

B 6 0 R 7/04 T

B 6 0 N 3/00 C

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 9 月 11 日(2023.9.11)

【手続補正 1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車両用ドアトリムであって、

車内側に突出し、前後方向に互いに離間する前側部分及び後側部分を有する支持部と、
前記支持部の前記前側部分及び前記後側部分の互いに対向する前後端面間に可動支持され
たアームレストとを有し、

30

前記アームレストの前後端面のそれぞれに突設された突起及び 2 つの前記突起を受容す
るべく前記支持部の前記前後端面のそれぞれに設けられた凹部を含む嵌合構造が設けられ
、

前記凹部それぞれが上下に延在する縦部と前記縦部の上端部から車内側に延びる横部と
を有し、

前記縦部が上下に延在する主部と、前記主部の上下方向中央部分において、車内側に膨出
する膨出部を備え、

前記膨出部の上端が車外方向かつ下方向を向く斜面により規定されている車両用ドアトリ
ム。

【請求項 2】

40

前記アームレストが直方体状をなし、第 1 面が上向きの第 1 位置及び前記第 1 面に対して
離反する第 2 面が上向きの第 2 位置にあるときに、

前記突起の幅が前記縦部の下端の車幅方向の幅と等しく、前記突起の車外側又は車内側が
前記縦部の前記下端に面接触するべく構成されている請求項 1 に記載の車両用ドアトリム

【請求項 3】

前記アームレストが、第 1 面が上向きの第 1 位置及び前記第 1 面に対して離反する第 2 面
が上向きの第 2 位置以外にあるときには、前記突起の車幅方向の幅が、前記縦部の下端の
車幅方向の幅よりも大きい請求項 1 に記載の車両用ドアトリム。

【請求項 4】

50

前記突起が４角形断面形状を有する請求項１～請求項３のいずれか１つの項に記載の車両用ドアトリム。

【請求項５】

前記突起が円形を割線により区画される小部分を切除した断面形状を有する請求項１～請求項３のいずれか１つの項に記載の車両用ドアトリム。

【請求項６】

前記突起が円形を互いに直交する２つの割線により区画される２つの小部分を切除した断面形状を有する請求項１～請求項３のいずれか１つの項に記載の車両用ドアトリム。

【請求項７】

前記突起が円形を互いに平行な２つの割線により区画される２つの小部分を切除した断面形状を有する請求項１～請求項３のいずれか１つの項に記載の車両用ドアトリム。

10

【請求項８】

前記横部の車内側の部分に、上面と、下面と、上面の車内側端部及び下面の車内側端部を接続する車内側面とによって画定された回転許容部が設けられ、

前記回転許容部の上面及び前記回転許容部の下面との距離は、前記突起の最大幅よりも大きい請求項１～請求項７のいずれか１つの項に記載の車両用ドアトリム。

【請求項９】

前記支持部の前記前側部分の上面にはドアの窓を開閉するための操作部が設けられている請求項１～請求項８のいずれか１つの項に記載の車両用ドアトリム。

20

30

40

50